



## 湖南 企業いきもの応援団 活動報告 Vol.2 (2012～2013年度)

### 《内容》

1. 平成25年度「しが生物多様性大賞」受賞報告
2. 『湖南 企業いきもの応援団』 参加者の言葉
3. 調査結果 (2012 ～ 2013年度)

2014年12月19日

湖南 企業いきもの応援団  
団長

桂 賢

# 『湖南 企業いきもの応援団』の概要

## ●活動内容

滋賀経済同友会・滋賀経済産業協会の会員企業を中心に、湖南地域に拠点を有する企業11社が参画。

狼川の上流から下流にかけて設けられた6ポイントの調査地を、各企業が分担して担当し、水質およびいきもの調査を行う。

## ●調査頻度

毎年4回（1月、4月、7月、10月）

## ●アドバイザー

草津市

滋賀県立琵琶湖博物館

「琵琶湖いきものイニシアティブ」



「草津市の自然と人との共生をすすめる  
施策の推進計画」

「市民との協働の推進事業」

# 『湖南 企業いきもの応援団』参加企業 2014年度現在

- 浅野運輸倉庫(株)  
[栗東市] 運送、倉庫業
- 滋賀中央信用金庫 南草津支店  
[草津市] 金融業
- (株)きんでん 滋賀支店  
[草津市] 電気設備、工事 他
- 中山倉庫(株)  
[大津市] 倉庫業
- 草津電機(株)  
[草津市] 小型モーター、ポンプの製造、販売
- 日本観光開発(株)  
[草津市] レストラン、ゴルフ場 他
- 郷インテックス(株)  
[草津市] 空調、給湯機器用部品の製造 他
- (株)藤田  
[草津市] 建築金物、工具の販売 他
- 滋賀銀行 南笠支店  
[草津市] 金融業
- 日本ガラストロンクス(株)  
[草津市] ガラス部品製造、省エネ商品販売 他
- パナソニック(株)アプライアンス社  
[草津市] 電気機器の製造

これに滋賀経済同友会 事務局を加えた  
12団体にて調査を実施

# 滋賀県 湖南地域の特徴

琵琶湖

湖岸地域

田園地域

まちなか地域

里山地域

- 多くの川が存在
- 川の流域に沿って里山、まちなか、田園、湖岸という多彩な景観、生活空間が広がっている。

図：「草津市の自然と人との共生をすすめる施策の推進計画」より抜粋/写真：932情報ネット、  
<http://agua.jp.org/>より

## 『湖南 企業いきもの応援団』狼川調査活動

●調査開始 2010年5月～

下流

上流

⑤ 調査ポイント

各企業が上流から下流までの6ポイントを分担し、年4回、水質及びいきもの一斉調査を行う。



# 琵琶湖は「人」と「自然」のバランスを移す鏡

滋賀の自然は  
精神・物質両面で「滋賀らしさ」の礎  
あらゆる企業活動の基盤

生物多様性への取り組みを

「生活と経済の持続・活性化の鍵」と位置づけ・・・

「持続可能な経済活動へのシフト」

「保全に貢献し得るビジネスの仕組みの創出」

「地域コミュニティの活性化」

に、経済人として責任を果たしていく

## 「琵琶湖いきものイニシアティブ」宣言文の概要

- 滋賀経済同友会が2009年4月25日に発表
- 生物多様性の保全を「生活と経済を持続するための鍵」と位置付け、企業が主体的な役割を担っていくための10項目の宣言

1. 生物多様性条約の支持
2. 生活と生きものの両方にぎわいの重視
3. 1種もしくは1生息地の保全への参与
4. 外来種の防除
5. エコロジカルネットワークの再生
6. 持続可能な一次産業の支援
7. 集水域における物質循環を考慮した「地産地消」
8. 生物多様性と地域生態系の保全につながる新規ビジネスの創造
9. 取引先や市民との協働による広報、啓発
10. 具体的な計画の策定



©滋賀県



©株式会社アミタ持続可能経済研究所

## 『湖南 企業いきもの応援団』発足の背景

～ 琵琶湖いきものイニシアティブ宣言実行にあたり企業の実情は... ～

- 生物多様性ってなに???
- **今なぜ企業が??**
- うちの会社は直接関係無い?  
(製造業、商社、倉庫業 etc... 生物との関わりが見えにくい)
- **具体的には何をすればよいの?**



- 身近にある自然、河川に対する**関心が薄い。**  
(最低限、法令順守)

- マンパワー、コスト等**負担が大きいのでは?**



身近な河川の調査は、絶好の**環境教育の場**となる。  
⇒まずは現場に出て、**生きた川の姿**を見てみよう!

地域にあり続ける**存在**として、行政が出来ない  
きめ細やかな**データ**を取得できるのでは?



## 『湖南 企業いきもの応援団』発足の背景

～ 企業ネットワークの構築 ～

企業ネットワークで調査を行うことによって

- 一社あたりの負担が減る。  
… コスト、マンパワー  
⇒**継続的な調査が可能**
- 情報の共有
- 異業種との交流、他企業との交流

⇒『琵琶湖いきものイニシアティブ』宣言の  
具体的活動実践へ

# 『湖南 企業いきもの応援団』発足の背景

## ～ 草津市、琵琶湖博物館との連携 ～

「意味のあるデータの取得」および、「取得データの正確性の担保」が必要

⇒ 草津市との連携…意味のあるデータの取得  
「草津市の自然と人との共生をすすめる施策の推進計画」

⇒ 琵琶湖博物館との連携…取得データの正確性の担保  
「市民との協働の推進事業」

# 『湖南 企業いきもの応援団』狼川調査活動

## ●調査の手引き（マニュアル）作成

～湖南企業いきもの応援団～  
狼川・調査の手引き

皆さんのまわりを流れる川は、どんな川ですか？と聞かれたら、どう答えられますか？  
多くの場合「きれいな川」「汚い川」といった答えが返ってくると思います。  
でも、そもそも「きれいな川」ってどんな川のことをいうのでしょうか？  
上流から下流までのさまざまな環境の中で、どんな生きものたちが命を紡いでいるか、  
そんな目で川を見てみたことはありますか？

多くの企業の皆さんにとって、「川」は工場や事業所から出される水と琵琶湖をつなぐ  
「道」ですが、川は、琵琶湖と多くの生きものたちを結ぶ「道」でもあります。  
川が健全かどうかを考えるには、水質や指標生物などのデータだけでなく、  
四季を通して、どんな生きものがどんな風を利用しているかを調査する必要があります。

これからはじめる「湖南企業いきもの応援団」の調査では、「3ヶ月に1度」「同じ  
ポイントで」「同じ日に」調査を行うことで、川の姿を生きものの立場から、をより  
立体的にとらえることを目的としています。

昔は、こどもの遊びや、おかずのための「魚つかみ」が、川の健康診断を兼ねて  
いたとも言われています。  
川に入ることで、さまざまな学びがあり、また、問題点も見えてくるといえます。  
それらを考えることで、人と川のいきいきとした関係を未来に向けて取り戻していくこと。  
末永くそこにあり続ける地域の企業として、地域の河川の監視役、川の語り手となって  
いくこと、それがこの活動の大きな目標です。



作成責任者：晴池池原（結・社会デザイン事務所）

### 調査用紙

報告用紙の記入例

湖南企業いきもの応援団・狼川調査 報告用紙 写真撮影チェック

必ず写真ま  
とったかチェック！

調査ポイント	ポイント ①		
企業名	〇〇株式会社 〇〇銀行	調査者氏名	佐藤 菊池
調査日時	2018/6/22	調査時間	14:00 ～ 18:00
天候	前日：曇り 当日：晴れ	気温	21.5℃

調査全体に  
かかった時間を  
記入

水や水辺の状態

水量	多 ・ 普通 ・ 少	気づいたことを 出来るだけ 詳しく記入
におい	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺	
高さ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺	
水色	透明 ・ 濁り（緑色、土色、など） ・ その他（ ）	
川原の様子	がらが目立つ、草丈が低い	
その他気づいたこと	川底が泥だらけになっている、水草が枯れている。	

調査結果を  
そのまま記入

水質など

水温	℃	溶存酸素	cm
pH		・ COD (mg/l) ・ 有機物濃度	(mg/l) ・ シン酸イオン (mg/l)

採取された生きもの

	タマゴ (T)	稚魚 (S)
1	オイカワ 正	
2	カワムツ 正	
3	ヘビトンボの若	
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

調査手法の改善点などを  
記入し、感じたこと  
をなんでも自由にお書き下さい。  
調査用紙が足りない場合は裏紙も利用して  
下さい！

種名と数を記入ください。  
種が不明の場合は、写真撮影の際に  
1400万像素を少なくともカメラアプリに接続  
マジックなどで記入し、ケースに貼付し、  
調査後に記入することも出来ます。



## 『湖南 企業いきもの応援団』 狼川調査活動



2010年5月18日 (春)	:	第1回調査会実施	(7社 21名参加)
7月20日 (夏)	:	第2回調査会実施	(8社 21名参加)
10月13日 (秋)	:	第3回調査会実施	(11社 26名参加)
2011年1月27日 (冬)	:	第4回調査会実施	(10社 22名参加)
2011年4月22日 (春)	:	第5回調査会実施	(10社 21名参加)
7月23日 (夏)	:	第6回調査会実施	(8社 35名参加)
10月25日 (秋)	:	第7回調査会実施	(7社 21名参加)
2012年1月26日 (冬)	:	第8回調査会実施	(9社 24名参加)
2012年4月24日 (春)	:	第9回調査会実施	(7社 21名参加)
7月18日 (夏)	:	第10回調査会実施	(7社 19名参加)
10月 9日 (秋)	:	第11回調査会実施	(8社 17名参加)
2013年2月13日 (冬)	:	第12回調査会実施	(9社 15名参加)
2013年4月18日 (春)	:	第13回調査会実施	(7社 15名参加)
7月23日 (夏)	:	第14回調査会実施	(7社 15名参加)
11月20日 (秋)	:	第15回調査会実施	(9社 16名参加)
2014年1月20日 (冬)	:	第16回調査会実施	(9社 19名参加)

# 『平成25年度しが生物多様性大賞』受賞報告

当団体の活動が「平成25年度しが生物多様性大賞」を受賞しました。

## ●受賞内容

しが生物多様性大賞

「川の守人」は県外にも誇るモデルとなるで賞

嘉田由紀子滋賀県知事表彰

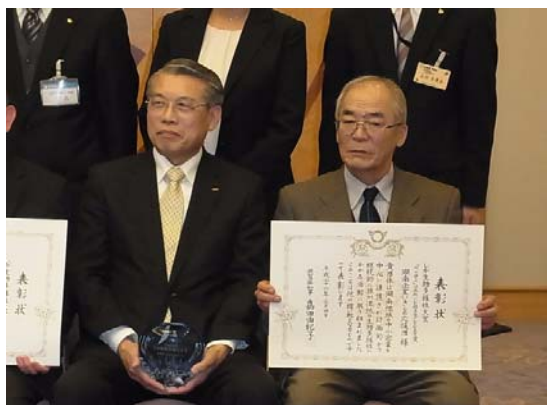


## ●表彰式

日時：平成26年3月4日（火）15:00～16:00

場所：滋賀県公館ゲストルーム

出席者： 団長 桂 賢 日本ガラストロニクス(株) 会長  
副団長 南 啓次郎 日本観光開発(株) 代表取締役社長  
副団長 宮島 和憲 郷インテックス(株) 代表取締役社長  
高田 稔郎 草津電機(株)





# 『平成25年度しが生物多様性大賞』受賞報告会

「嘉田滋賀県知事、橋川草津市長、篠原滋賀県立琵琶湖博物館館長をお迎えして、  
「平成25年度しが生物多様性大賞」受賞報告会・祝賀会を開催しました。

- 日時 平成26年4月15日（火）16時00分～20時00分
- 場所 ホテルポストプラザ草津
- 総会・報告会・祝賀会 次第
  - ・第一部 総会 (司会)近藤 行和 郷インテックス(株)総務グループ  
開会挨拶 湖南企業いきもの応援団・団長 日本ガラスロニクス(株)取締役会長 桂 賢  
①平成25年度事業報告 ②決算(監査報告) ③次年度事業計画 ④次年度予算
  - ・第二部 大賞受賞の活動報告 (司会)南 啓次郎 日本観光開発(株)代表取締役社長  
団長挨拶 桂 賢 日本ガラスロニクス(株)取締役会長  
平成20年度 滋賀経済同友会「企業と生物多様性研究会」座長挨拶  
秋村 田津夫 (株)秋村組 代表取締役  
活動報告 宮島 和憲 郷インテックス(株)代表取締役社長  
講 評 堺井 拓 滋賀県琵琶湖環境部長  
来賓祝辞 嘉田 由紀子 滋賀県知事  
橋川 渉 草津市長  
篠原 徹 滋賀県立琵琶湖博物館館長  
山田 督 滋賀経済同友会代表幹事  
謝 辞 湖南企業いきもの応援団 岩田 敏明(株)きんでん 執行役員・滋賀支店長
  - ・第三部 祝賀会 (司会)浅野 邦彦 浅野運輸倉庫(株)代表取締役社長  
祝 辞 菊地 玲奈 結・社会デザイン事務所代表  
中井 克樹 琵琶湖博物館学芸員  
参加者自己紹介・新入会員挨拶 パナソニック(株)アプライアンス社  
乾杯発声 北村 嘉英 草津電機(株)代表取締役社長  
中締め挨拶 中山 雅文 中山倉庫(株)取締役社長



# 『平成25年度しが生物多様性大賞』受賞報告会

来賓祝辞 嘉田 由紀子 滋賀県知事

本日は「しが生物多様性大賞」受賞報告会・祝賀会にお招き頂きましてありがとうございます。滋賀県を代表致しまして、一言、御挨拶申し上げます。

まず、湖南企業いきもの応援団様の活動が、栄えある第1回目のしが生物多様性大賞を受賞されましたことを、心からお祝い申し上げます。

しが生物多様性大賞は、滋賀経済同友会の皆様から、生物多様性に関する多彩な取組に対するの表彰制度を県と連携して創設しようとの提言を頂いたことに始まります。人と自然との共生を実現し、生物多様性に配慮した社会経済への転換が求められている中、県といたしましても提言をありがたく受け止め、生物多様性の表彰制度創設にむけて滋賀経済同友会の皆様と協議を重ね、昨年度にしが生物多様性大賞を創設することができました。この場をお借りしまして、滋賀経済同友会関係者の皆様に感謝申し上げます。

さて、第1回目のしが生物多様性大賞には、県内で実施されている生物多様性に関する活動から、16点もの応募がありました。その中でも湖南企業いきもの応援団様の活動については、狼川流域に事業所を構える中小企業の11社が連携して、草津市や琵琶湖博物館を巻き込みながら、生物多様性に関する活動を計画的かつ継続的に取り組まれている点が審査委員から高く評価されたと聞いております。今回の受賞は、中小企業の方々が互いを補完し、協力しあう体制を整えることによって、地域の生物多様性保全への貢献ができることを広く示すものであり、滋賀の企業と、そしてそこで働く方々の環境への関心の高さのあらわれだと思えます。

平成24年の9月には、国において新たな生物多様性国家戦略が策定されました。本県においても、今年度中に「(仮称)滋賀県生物多様性地域戦略」を策定し、県あげて生物多様性の保全に取り組んで参りますので、経済界の皆様の一層の御尽力・御支援を賜りたいと存じます。

湖南企業いきもの応援団様がますます活躍され、こうした取組が県内外に波及していくことをお祈りして、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。

(この内容は、事前に用意されたもので、実際に話された内容とは一致しません。)



嘉田 由紀子 滋賀県知事

# 『平成25年度しが生物多様性大賞』受賞報告会

来賓祝辞 橋川 渉 草津市長

この度は、しが生物多様性大賞「川の守人は県外にも誇れるモデルとなるで賞」を受賞され、誠におめでとうございます。

皆様の活動は、御承知のとおり一企業の活動ではなく、湖南地域に拠点がある11社の企業のネットワークにより、「湖南企業いきもの応援団」として共同活動として取り組まれております。

このような取組手法はまさにこれからの企業の社会貢献のあり方の模範となるものでございまして、環境面だけではなく、社会的にも大変意義のある取り組みであると考えております。

皆様の活動は、平成22年から市内を流れる狼川において、実際に河川に入って生き物調査や水質調査をこれまで4年間で16回、延べ328人の方々により行っておられ、このような活動が他の河川や地域においても広がる事を期待しておりますし、本市も引き続き支援させていただきたいと考えております。

本市は、昨年の住みよさランキングにおいて、近畿111都市の中で第1位となりましたが、これからも住みよいまちであり続けること、そして人間だけでなく生き物にとっても住みよいまちになるよう、企業や地域の皆さんとともに積極的に取り組んでまいりますので、御協力よろしくお願い申し上げます。

結びに、これからも皆様方のネットワークを生かした末永い活動と、湖南企業いきもの応援団のますますの御発展を心よりご期待申し上げます。

(この内容は、事前に用意されたもので、実際に話された内容とは一致しません。)



橋川 渉 草津市長



# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

日本ガラスロニクス

※順不同 敬称略

湖南企業いきもの応援団 団長 桂 賢  
日本ガラスロニクス(株)取締役会長



“湖南地域における企業といきものの共生を目指して” 結成した「湖南企業いきもの応援団」は、発足以来の活動が認められ、この度、第一回（平成25年度）しが生物多様性大賞・知事表彰を受賞いたしました。これも偏に「湖南企業いきもの応援団」会員企業様のご理解とご協力、又、当応援団の活動にご指導、ご支援を戴いている草津市役所様、滋賀県立琵琶湖博物館各位のご協力に対する、その「ネットワーク」に与えられた受賞でございます。あらためてここに深く感謝申し上げます、喜びを噛み締めたいと存じます。

国連環境開発会議、いわゆる「地球サミット」で採択された「気候変動枠組み条約」と並んで「生物多様性条約」の目指す“自然との共生”は、昨今の地球規模での異常気象による甚大な災害、隣国中国のPM2.5などの大気汚染、地球環境の崩壊を見るにつけ、人類の生き様に対する自然界からの“しっぺ返し”かとも、または、警鐘に値する事象に謙虚のならざるを得ない。

湖南企業いきもの応援団の活動は、身近な河川の生物、水質調査を通して、私たちの事業活動、ライフスタイルに対する指標となり得る極めて貴重なデータ集積の活動です。

“他人の振り見て、吾が振り直せ”は先人達の教えではあるが、人と自然界との関係でもあります。人と自然が共生する社会の実現には、自然界の変貌が人類の生き様、性(さが)を映し出す“鏡”に値することに自戒を込め、次なる活動に繋げてまいりたい。

会員企業様、草津市役所様、滋賀県立琵琶湖博物館様はじめ、関係者各位様の引き続きご支援ご協力を賜りますよう御願ひ申し上げます。

ここに当会の活動を第2報としてまとめましたので、関係各位におかれましては行政施策、研究・教育の場、事業活動へのフィードバックなど多方面においてご参照賜れば幸甚に存じます。

日本ガラスロニクス(株) 取締役会長 桂 賢



普段何気なく通っている道路のそばに多種多様な生物の生息している環境にあふれた場所があることを改めて知りました。  
川の中に入って自然に触れ合うことが子供のとき以来だったのでひとつひとつの事が新鮮に思えました。  
人間の影響で生物の住む環境を破壊してはいけないと痛感いたしました。

日本ガラスロニクス(株)統括管理部 森田 潤治



この調査を始めて、早4年が経過しました。事務局を弊社より郷インテックス様をお願いすることとなり、よりスムーズな運営をして頂いています。

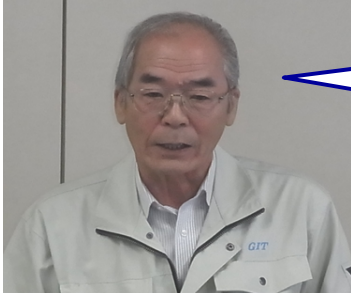
調査も参加当初に比べ大分慣れてきたことで精度も格段に上がってきていると実感しています。しかし、慣れた分おそろかにしている部分もありますので、今一度原点に戻り、より精度の良い調査が出来る様に心掛けていきたいと思ひます。

日本ガラスロニクス(株)統括管理部 主任 藤原 浩平

# 『湖南企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 郷インテックス(株)

湖南企業いきもの応援団 副団長 宮島 和憲  
郷インテックス(株) 代表取締役社長



調査活動から、次は調査内容を分析し、あるべき川の姿に近づける活動を、そして広げる活動を期待します。

郷インテックス(株)代表取締役社長 宮島 和憲



今年で私自身3年目の狼川での調査となりました。同じポイントで調査をしていると季節の変化と共に虫や魚の成長や川原の様子に感動します。人として生き物や自然との共存という意味では、この活動を通じて地域の皆様や会社の従業員に生物多様性の大切さと関心を持ってもらえるように伝えて行きたいです。また、調査員の交流を大切にして成長したいです。

郷インテックス(株)製造グループ技術チーム 富家 益治



活動当初は「生物多様性」という言葉をあまり馴染みがなかったのですが、最近はよく耳にするようになりました。狼川という狭い範囲ではありますが、その中にもいろんな生物が生息しています。このような調査は決して派手ではない地道な活動ですが、自然と触れ合う貴重な時間だと思います。また、調査を重ねるごとに新たな発見があり少しうれしくなります。大人になって、このような体験をする機会は少なくなってきたので、少しでも貢献できればと思います。

製造グループ品質管理チーム 久保木 毅



一年間活動に参加して、こんなにたくさんのいきものがいるんだなと思いました。

しかし、川のおいやゴミが多くて気になる所もあったので今後は調査と同時に川をキレイにする活動もできたら良いなと思いました。

郷インテックス(株)製造グループ加工チーム 鎌田 迅斗

# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 郷インテックス(株)



この活動に参加させて頂き早や2年、小さな川でも四季を通して様々の変化を見ることができ、大変勉強になりました。2年間の活動で思ったことは、当初のイメージとしてゴミなどが多く、こんな川に生き物が生息してるのかと思いました。でも、活動をしているうちに、多くの生き物が生息してるのに驚きました。今では、珍しい（新種）生き物は居ないか…など意識しながら活動に参加しています。これからも活動を継続して、地域や企業に関心を持っていければよりよい活動になるのではと思いました。

郷インテックス(株)営業グループ部品管理 田中 良明



この活動を開始して4年がたち、当初から参加されていたメンバーが少なくなりましたが、活動を立上げられた皆さまのご努力により「しが生物多様性大賞」を受賞できたものであり、感謝申し上げます。私は、4年目の2013年4月より事務局をさせて頂き、不慣れた運営で、ご迷惑をかけているかと思えます。今後も、当初の目的通りに、各ポイントが同じ方法で精度の高い調査になるよう運営していきます。

郷インテックス(株)総務グループ 近藤 行和

## 浅野運輸倉庫(株)

わが社の場内にも“中の井川”という一級河川が流れています。サギやカモの野鳥からカメや小魚まで、多くの生物を垣間見ることができます。「自然との共生」とは、本来“自然環境下での営み”でなければなりません。身近な自然を守る小さな取り組みによって未来につなぐことが使命であり、動植物との出会いが心を癒し、企業の生命力をも高めます。大いなる自然の力に加護されて私たちは生かされています。

浅野運輸倉庫(株)代表取締役社長 浅野 邦彦

私は今年初めて参加させていただいたのですが、こんなに身近なところに様々な生態系が混在しているとはとても驚きました。この度参加させていただき子供の時に戻った様な気持ちになりました。今後は、この経験を滋賀県民としてしっかり胸に刻んでいきたいです。

浅野運輸倉庫(株)総務部 主任 浅野 達彦



# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 日本観光開発(株)



第1回「しが生物多様性大賞」で大賞を受賞するに至ったのは、長年に渡り地道ではあるが着実に調査を続けた結果を認めていただけたと思います。これからも、当社のCSR活動の大きな柱として積極的に役割を担って参る所存です。この活動がこの先も長く継続して行かねばならないと決意新たにしております。

日本観光開発(株) 代表取締役社長 南 啓次郎



実地1回と懇親会の参加のみでありましたが、参加の皆様を見たり、お話をお伺いするにつけ、楽しみつつ積極的に取り組まれている様を大変喜ばしく感じておりました。また、応援団の皆様は一樣に日頃の御仕事に対しても真面目にお話をされ、大変刺激を受けました。定点観測という継続作業に取り組み続ける本活動は、環境保全と地域貢献のみならず、企業経営に活かすべき大切な要素も含んでいると思います。また良い刺激を頂きに、参加させてもらいます。

日本観光開発(株) 社長室・企画部兼グループ統括本部/取締役社長室長兼高速道路事業部長 西川 浩彦



川の生態を知って如何なるものかと半信半疑で参加させて頂いているうちに生物の捕獲を楽しんでいる自分がおりました。3~4回参加させて頂き、いつか大物を捕獲するのが今の夢です。貴重な体験をさせて頂きありがとうございます。

日本観光開発(株) 総務・経理部/次長 岡 保則



湖南企業いきもの応援団の社内担当者として2011年より複数回参加させて頂いております。観測ポイントも4箇所(ポイント1、ポイント4、ポイント5、ポイント6)にて活動致しました。季節、場所により川の様子は異なり、変化しているのを実感致しました。現状は定点観測の活動を継続して実施していますが、将来的には参加企業の社員並びに自治体、地域住民と協同でより深耕した保全活動に発展できればと思います。

日本観光開発(株) 社長室・企画部兼グループ統括本部/主任 西澤 直基

# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

## (株)きんでん 滋賀支店

私たちはこの4年間、年4回の調査活動を欠かすことなく実施してきました。地道な活動ではありますが、これからも愚直に活動を継続し、地元地域の生物多様性への貢献を果たしていきます。

(株)きんでん 滋賀支店 執行役員支店長 岩田 敏明

調査活動の当社参加者は限定されがちでしたが、ここ最近、少しずつ参加者の輪が広がってきました。ひとりでも多くの人に関心をもっていただき、活動への参加を続けていきます。

(株)きんでん 滋賀支店 業務部次長 辰井 裕二

調査活動を通じて、身近な自然環境の保護に少しでもお役に立てるよう、これからも積極的に協力していきます。

(株)きんでん 滋賀支店 営業部 吉川 裕介

定点観測する中で毎回微妙な変化があり、その発見をおもしろく感じています。これまでどおり継続して活動していくことが大切だと思うので、今まで以上に多くの方が参加し、それぞれが知識を深めていければ良いと思います。

(株)きんでん 滋賀支店 業務部 中尾 卓生

## 滋賀経済同友会



計2回の調査会に参加させていただきました。調査活動は非常に地道な作業ですが、湖南地域の自然環境を見つめる重要なデータになりうると考えると大変意義のあることだと感じております。今後も継続し、より多くの企業様に参加いただければと思います。また、地域住民の方や小学生の子供たちも是非この活動に参加をしていただければと考えます。湖南企業いきもの応援団の活動が、滋賀らしい取り組みモデルとして、生物多様性に関する広い分野でのネットワーク拡大および強化につながることを期待しています。

滋賀経済同友会 事務局 廣田 智行

# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 滋賀銀行 南笠支店

平成26年2月に現店へ赴任して始めて本活動について知り、日々は当店の外交 中地君が年4回の活動に参加しておりますが、平成26年5月14日の調査に参加させて頂きました。  
参加して感じた事は、地道な活動であるが、過去に16回計画的にまた学術的に水質、生き物の分布を時系列に調査をされ、各調査員がやりがいを持って活動されていることに感動を覚えました。  
今後はこの活動が環境保全だけでなく、企業活動の一旦を担う広がりを感じております。

滋賀銀行 南笠支店 支店長 島田 潤一



この活動に参加して1年が経ちますが、毎度楽しく参加させて頂いております。

環境について考える機会は多々ありますが、実際に自ら活動する機会はあまりありません。実際に活動することによって、身近な自然を大切にしようという思いが強くなり、環境への意識が高まりました。

今後の活動についてですが、調査するとともにごみ拾いなどの清掃を行い、環境保全活動も併せていくべきだと思います。また、どのような環境が生き物にとって良い環境なのかを実際に手を加えていくことも検討してもおもしろいかと思います。

これからも、積極的にこの活動に参加していきたいと思っております。

滋賀銀行 南笠支店 得意先係 中地 崇介

## 滋賀中央信用金庫 南草津支店

いつも狼川の調査 ご苦労様です。  
身近な川の調査は、生活に密着しており、企業、市民の環境への関心度合が図られると思います。  
今後も継続的な調査に頑張って下さい。

滋賀中央信用金庫 南草津支店 支店長 井上 誠

少年の頃に戻ったような、とても懐かしいかつ貴重な体験をさせてもらっています。  
川に住む魚、水質の変化等、当調査に参加しなければおそらく気付いてなかったことです。  
今後も無邪気に真剣に取り組んでいきたいと思っております。

融資推進担当 岩崎 真



# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 中山倉庫(株)

「湖南 企業いきもの応援団」の活動に参加させていただいて、琵琶湖固有の生物が数多く生息し、また、絶滅の危機に瀕していることを身をもって知りました。これらの生物は、琵琶湖400万年の連綿とした歴史の証です。この歴史が途絶えようとしている事実を知らせてくれたいきもの調査の活動に感謝し、今後も参加させていただけたらと思っています。

中山倉庫(株) 取締役部長 山本 良雄

毎朝、狼川の川沿いの道を自動車通勤しています。私は調査活動の参加を通して普段何気なく見ている川の中に、目を凝らして見ないと気付かない生物から何かと問題になっている外来種の生物達が生息していることを知り一見のどかに見える川の中でも日々変化が起きていることに驚くとともに生態系の保全問題の難しさ、この活動の大切さを以前にも増して感じるようになっていきます。

中山倉庫(株) 総務課長 南 隆史

継続して参加させて頂き、調査する季節、年により、川原の様子や生息する生き物の発見が違うことに感動しました。これからも皆様と協力して活動していきたいと考えております。

中山倉庫(株) 総務課主任 平井 繁雄

## 草津電機(株)



しが生物多様性大賞を受賞され、地道な活動が要約社会に認められるようになって来ましたが、世間一般をはじめ各家庭にまで浸透した「いきもの」に対する意識が薄く、「いきもの」はデパートで購入する「モノ」としての意識があります。この活動を通じて「いきもの」は人間だけではなく周囲全体が「いきもの」で満たされており、「いきもの」は「汚い・怖い・要らない」と否定するのではなく、モラル教育以前の「いきもの」を大切にする事が人間（自分）を大切にする事につながる事を、この活動を通じて少しずつでも改革出来れば嬉しいです。

草津電機(株) | SO事務局兼特許担当 高田 稔郎

# 『湖南 企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 草津市 環境課

活動報告を拝見させていただき、狼川に多くの生き物が住んでいることを知り驚きました。今後、この活動がどんどん広がっていき、より多くの人をドキドキさせられる様ご活躍を願っております。機会があれば参加させていただこうと思っています。

草津市 環境課 主事 三谷 真也

「平成25年度しが生物多様性大賞」の受賞おめでとうございます。以前に参加させていただいたときに、参加者の皆さんが楽しみながら活動されているのが非常に印象的でした。今後も持続可能な社会の実現に向け、継続的・発展的な活動となるよう願っております。

草津市 環境課 専門員 小川 卓史

狼川の生き物の実態が写真を交えて紹介されており楽しく拝見させていただきました。地域の方々がご覧になってもわかりやすく、地元の川への親しみを感じていただける、すばらしい調査だなと感じています。今後、機会を見つけて、参加したいと思います。

草津市 環境課 専門員 西谷 博子

しが生物多様性大賞受賞おめでとうございます。調査結果では、狼川には多くの生き物がいることに驚きました。身近な自然に触れることができるこのすばらしい活動が今後も継続し、より発展していくことを願っております。また、今後、活動にはぜひ参加させていただければと思っています。

草津市 環境課 専門員 横江 健志

昨年度は、しが生物多様性大賞も受賞され、より多くの方々が活動に、共感されたのだと思います。これからも、参加者のかたがた自身がワクワクする気持ちを失わず、地域の方々を巻き込みながら、長く活動を続けられることを願っております。機会があれば参加させていただこうと思っています。

草津市 環境課 主査 津田 久美子

先日の「平成26年度滋賀GPN総会」の事例報告において、取組の発表をされ、より多くの事業所に活動についての周知ができたと思います。今後も、活動が続いていき。また、新たに活動を始められる団体が生まれ発展していくことを願っております。

草津市 環境課 主任 高橋 佑輔

# 『湖南企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 草津市 環境課

湖南企業生き物応援団の活躍は狼川を中心として地域に根ざした活動として素晴らしいものと感じています。今後も草津市として一緒に活動に参加できればと思っています。

草津市 環境課 課長 仲川 喜之

一年を通じて調査を行いますと、狼川やそこにいる生き物の様子の変化を感じ取ることができました。身近な環境について実体験の中で学び考えることができ、貴重な体験をさせていただいています。今後、この素晴らしい活動が地域の方にも認知され、参加いただけるようになればより良い活動になると思います。

昨年度、初めて参加させていただきました。大人になってから、このような身近な自然に触れる機会はないのでとても素晴らしい取組だと感じました。今後10年、20年と活動が続いていくことを願っています。

草津市 環境課 主任 梅原 亮平

いきもの応援団の活動は、個人的には当初から関わりを持たしていただいておりますが、やっと今年、実際の調査に参加することができました。私も市の調査で狼川の水質について、昭和40年代からの調査に参加しておりましたが、その水質が少しずつ改善されてきているのを感じておりました。しかし、水質だけでなく、そこにいる生き物を見据えた調査が「生態系」を考える上で重要であります。草津市での調査は、水生生物の調査がほとんどであり、河川そのもののいきもの調査はできておりません。今、これだけ多くの種類の魚、トンボなどの生き物が生息していることは、今後の草津の河川の生態系を考える上で重要であります。このデータが、今後の草津市の河川づくりの資料として活用していきたく考えているところです。企業の皆さんが身近な河川である狼川を、調査することにより、企業としても生物多様性を意識し、地域貢献の観点から、企業として、また、参加した人それぞれにとって、生物多様性を、自分として考え、何ができるのか考えるきっかけになってほしいなと思うところです。今後も実際に体験し、その河川のすばらしさを地域の方々に伝えていく活動になればと考えております。一緒に活動しましょう。

草津市 環境課 参与 宮城 成和



# 『湖南企業いきもの応援団』参加者のコメント

## 滋賀県立琵琶湖博物館



『湖南企業いきもの応援団』は草津市に本拠をおくさまざまな企業が、この地域に住む「いきもの」の種類や生息環境を調べて、「いきもの」が生活するうえで暮らしやすくなっているのかどうかをチェックしている団体です。「いきもの」のなかには人間も入るのですが、人間以外の「いきもの」は言葉を持ちませんので、人間が「いきもの」がどのような状態なのか調べて代弁するしかありません。そして「いきもの」が本来の暮らしができないとすれば、それは人間が「いきもの」の暮らしを変えたのですから、本来の暮らしができるように戻さなくてはなりません。どのように戻すのかを、この応援団が調べてくれているのです。

今回、この応援団が「平成25年度しが生物多様性大賞」を受賞したのは、こうした活動が認められたわけで、応援団を応援している琵琶湖博物館としても喜びにたえません。この受賞を契機にさらに応援の質をあげていただき、さらなる発展を期待します。



COP10の開催に先んじて2009年に始まったみなさんの調査も、早いもので5カ年を経過し、このたび2回目の報告書を出す時期となりました。調査の対象が、魚だけでなく、水生昆虫、エビ、貝などにも拡大し、現場での作業も一層「生きものにぎわい」に満ちたものになってきたと感じております。昨年度末にはそうしたみなさんの活動が「しが生物多様性大賞」の大賞受賞という形で評価されましたこと、たいへん嬉しく思います。生物多様性の保全が求められる昨今、生きものたちの世界に徐々に、時に急速に、しかし静かに起きる変化に気づくことが大切です。みなさんの長期間にわたる地道な調査で、生きものたちが発するメッセージが受け止められることを期待しています。その意味でも、こうした報告書の形で成果を取りまとめることは、とても大切な作業だと思います。

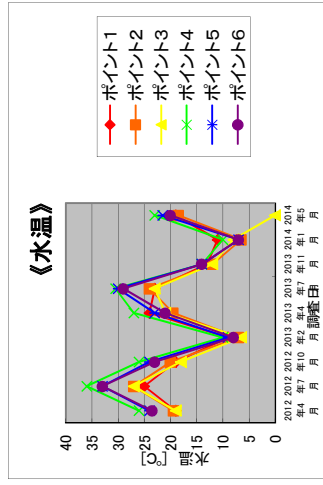
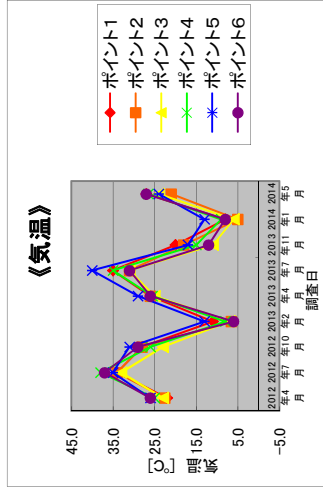
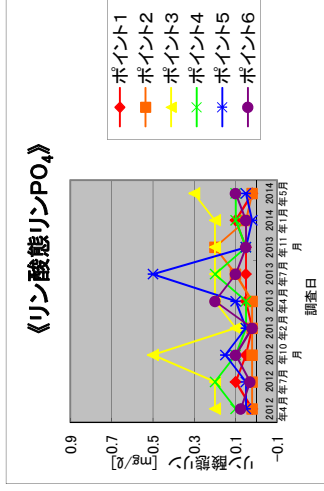
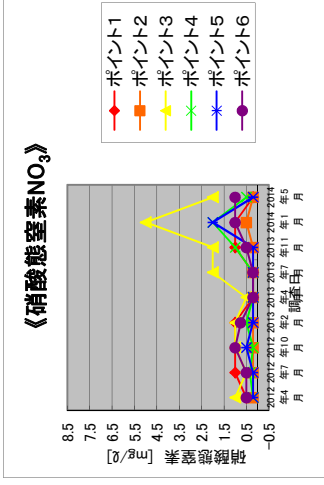
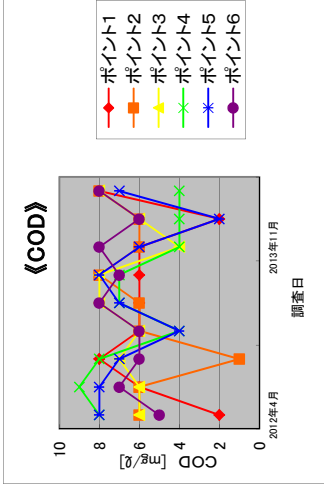
滋賀県立琵琶湖博物館 専門学芸員 中井 克樹

## 調査結果 2012～2013年度

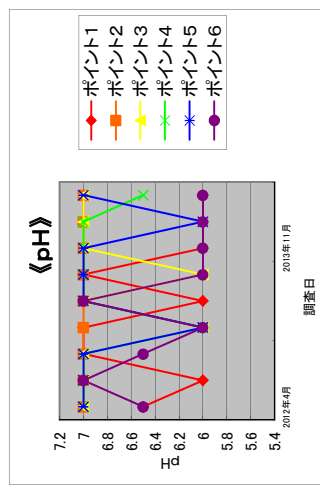
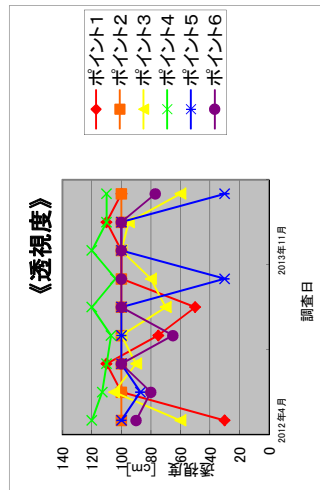
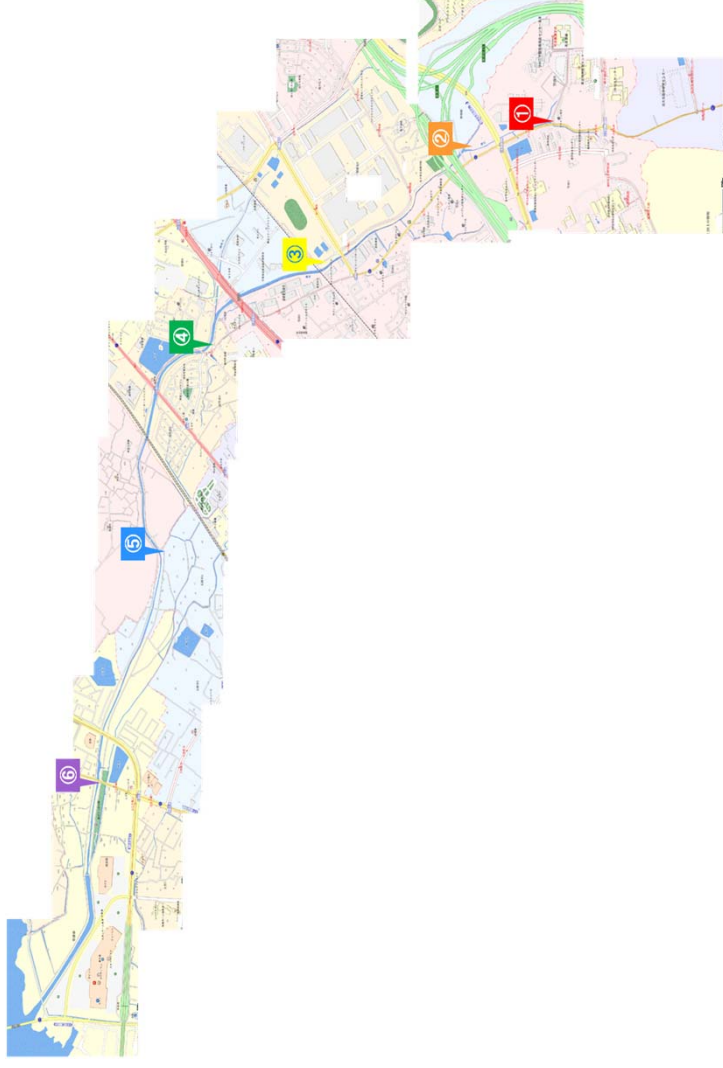
1. 水質調査結果 全体 . . . . . P1
2. 水質調査結果 各項目毎 . . . . . P2～8
3. 水質調査結果 各ポイント毎 . . . . . P9～14
4. 生き物捕獲データ一覧 基礎データ、種数、地点別 . . . P15～18
5. 生き物捕獲写真データ 各ポイント毎（季節毎） . . . P19～25
6. 風景定点写真 . . . . . P26～31

《湖南 企業いさぎもの応援団》

2012～2013年 狼川水質調査結果



※ポイント3 2014年5月は温度計破損により測定できず

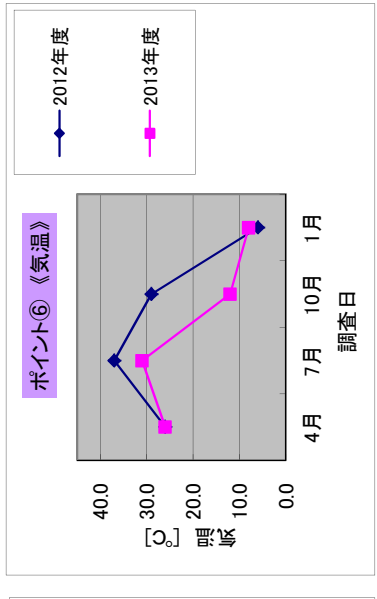
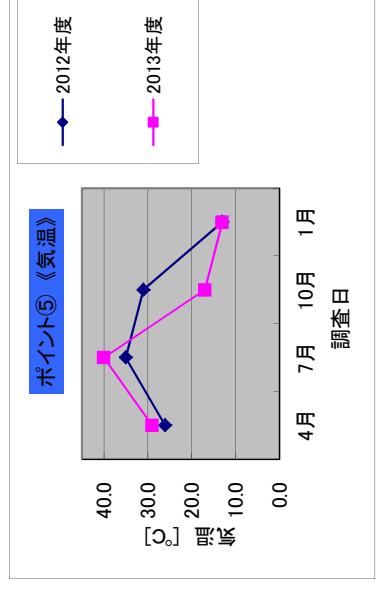
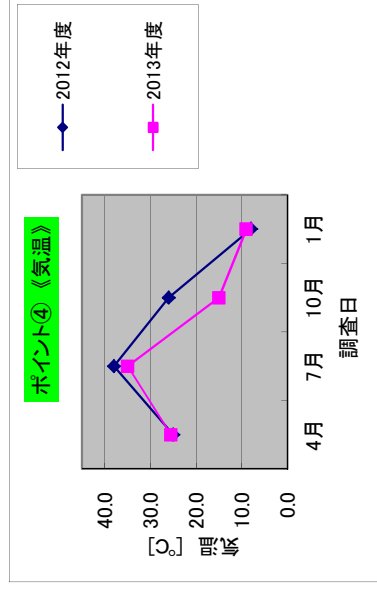
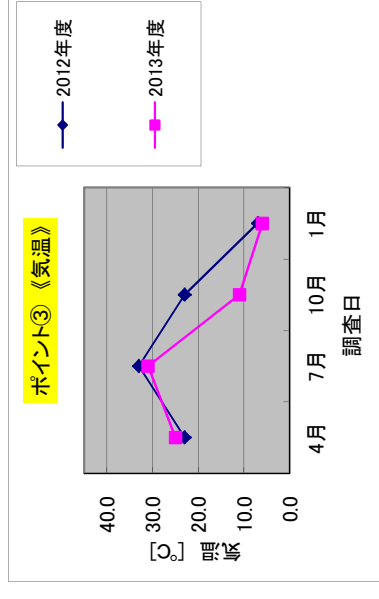
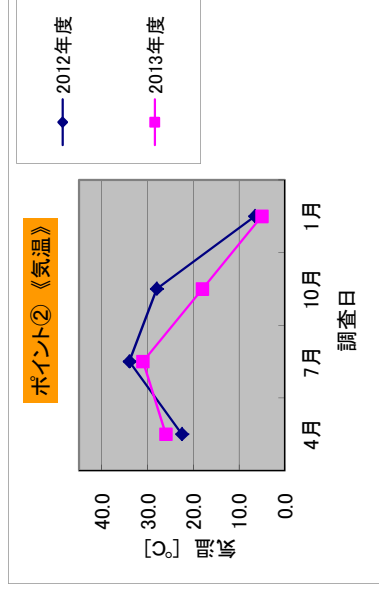
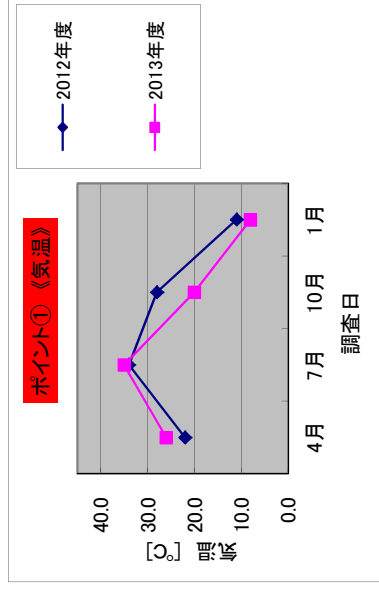




# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【気温】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度	22.0	22.5	23.0	25.0	26.0	26.0
7月	34.0	34.0	33.0	38.0	35.0	37.0
10月	28.0	28.0	23.0	26.0	31.0	29.0
1月	11.0	6.5	7.0	8.0	13.0	6.0
2013年度	26.0	26.0	25.0	25.5	29.0	26.0
7月	35.0	31.0	31.0	35.0	40.0	31.0
10月	20.0	18.0	11.0	15.0	17.0	12.0
1月	8.0	5.0	6.0	9.0	13.0	8.0

■ 測定方法  
棒温度計

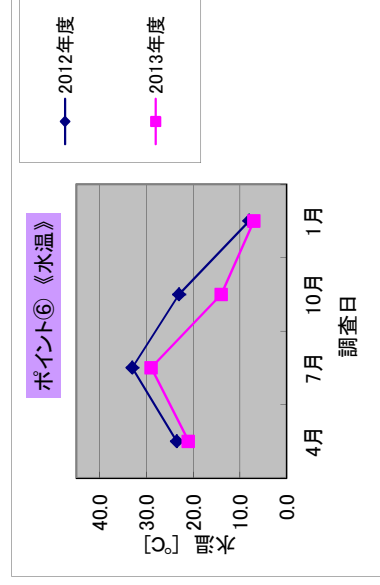
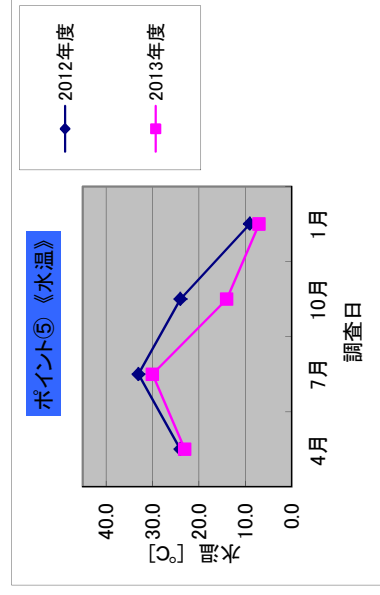
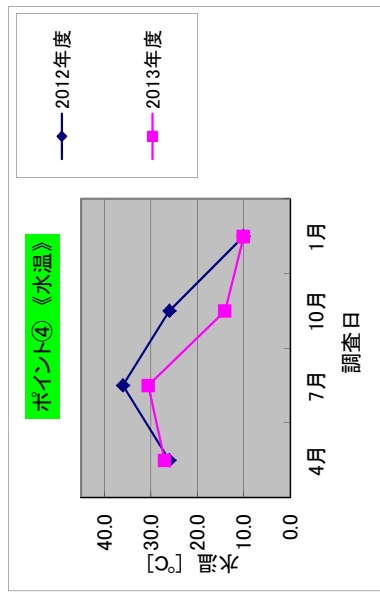
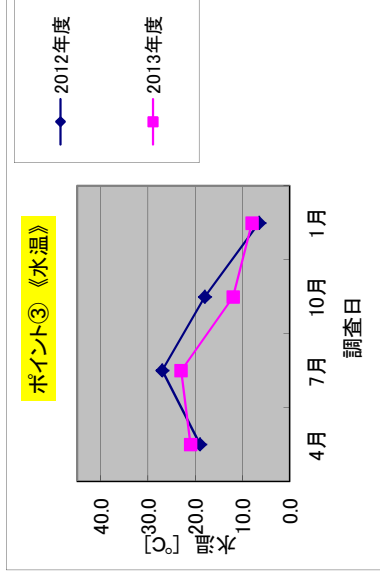
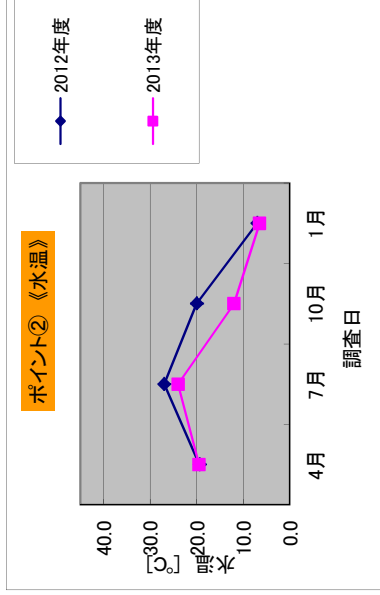
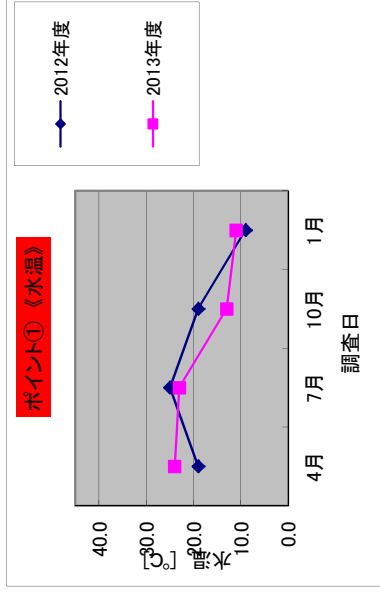


※2011年10月は温度計破損により測定できず

# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【水温】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度	19.0	19.4	19.0	26.0	24.0	23.5
7月	25.0	27.0	27.0	36.0	33.0	33.0
10月	19.0	20.0	18.0	26.0	24.0	23.0
1月	9.0	7.0	6.5	10.0	9.0	8.0
2013年度	24.0	19.5	21.0	27.0	23.0	21.0
7月	23.0	24.0	23.0	30.5	30.0	29.0
10月	13.0	12.0	12.0	14.0	14.0	14.0
1月	11.0	6.5	8.0	10.0	7.0	7.0

■ 測定方法  
棒温度計

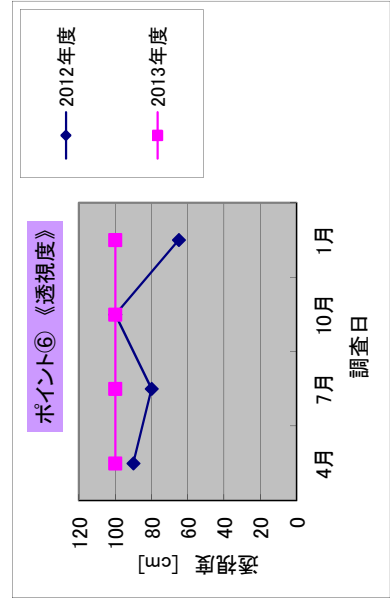
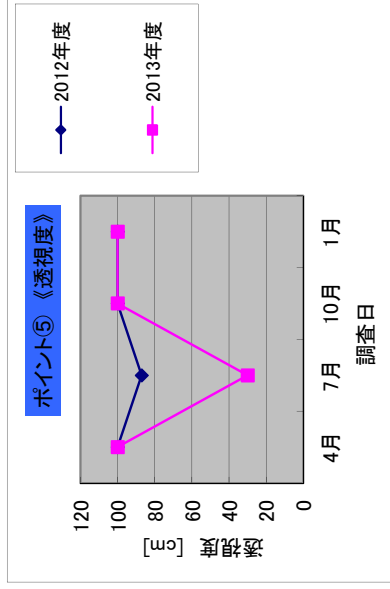
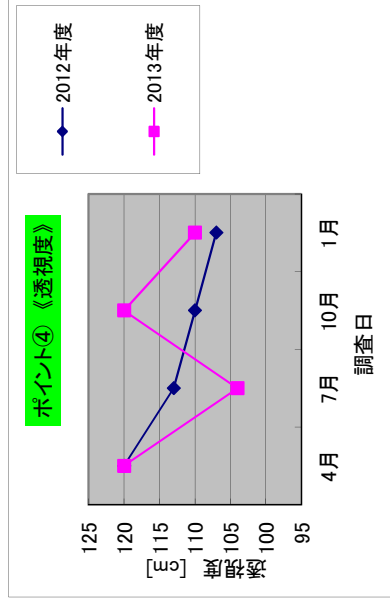
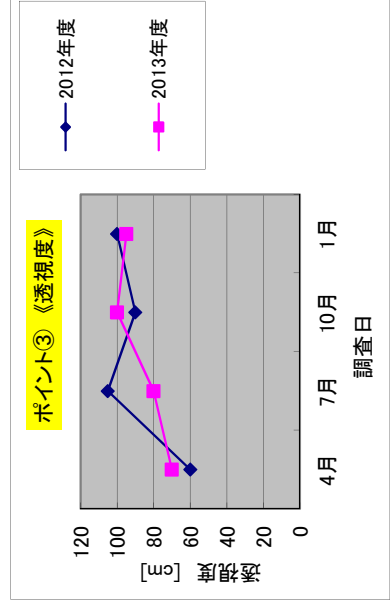
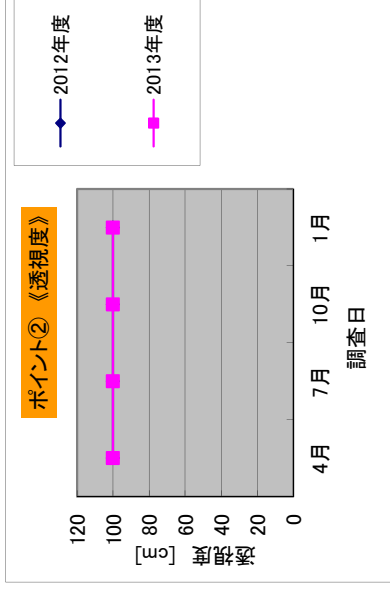
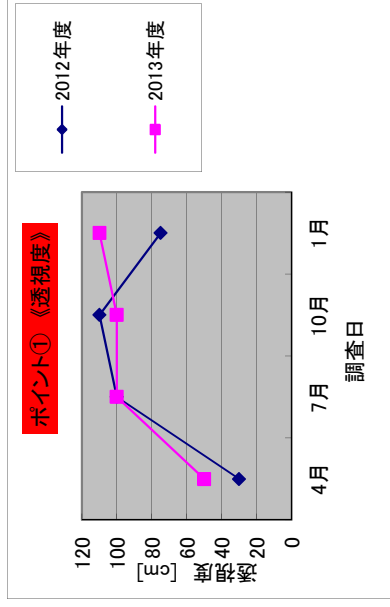


※2011年10月は温度計破損により測定できず

# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【透視度】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度	30	100	60	120	100	90
7月	100	100	105	113	87	80
10月	110	100	90	110	100	100
1月	75	100	100	107	100	65
2013年度	50	100	70	120	100	100
7月	100	100	80	104	30	100
10月	100	100	100	120	100	100
1月	110	100	95	110	100	100

■ 測定方法  
透視度計

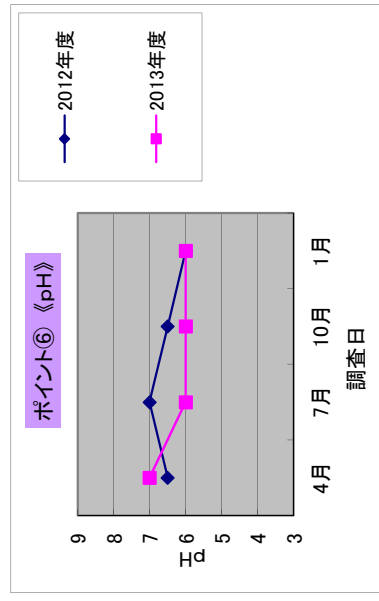
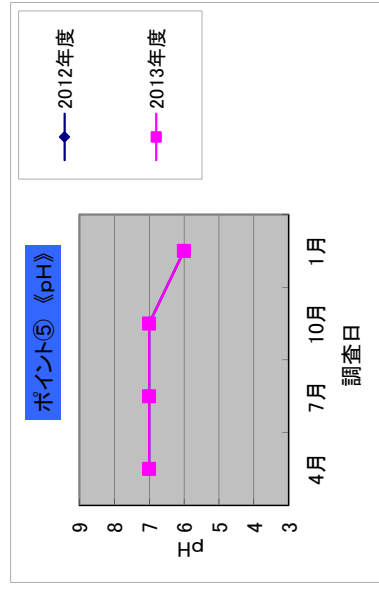
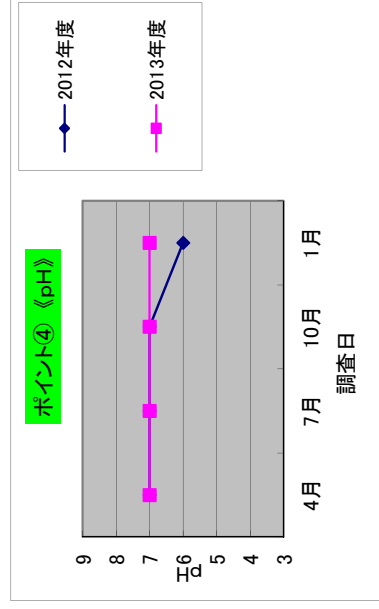
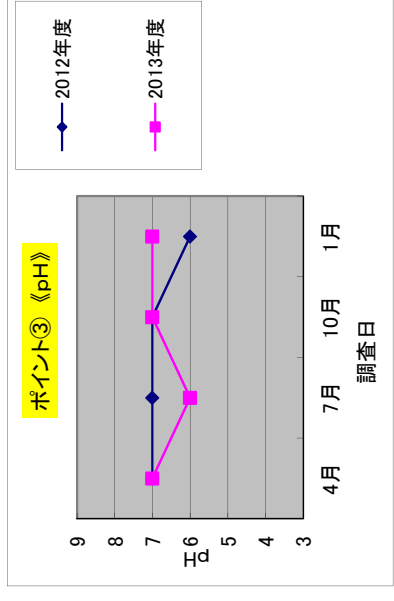
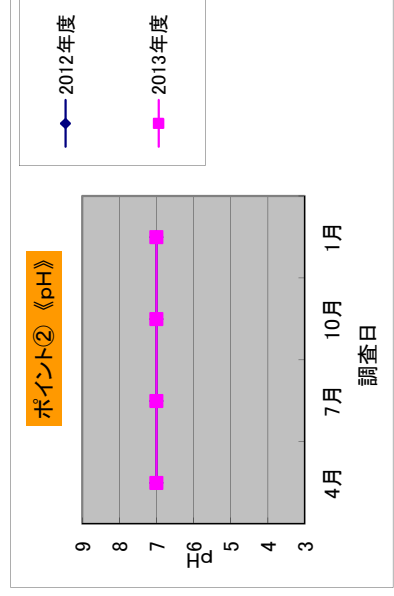
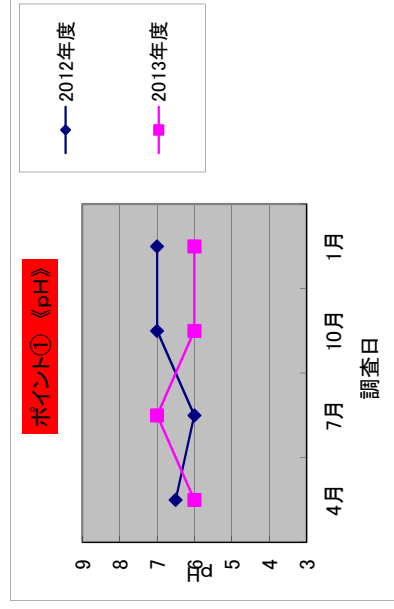




# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【pH】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度	6.5	7	7	7	7	6.5
7月	6	7	7	7	7	7
10月	7	7	7	7	7	6.5
1月	7	7	6	6	6	6
2013年度	6	7	7	7	7	7
4月	6	7	7	7	7	7
7月	7	7	6	7	7	6
10月	6	7	7	7	7	6
1月	6	7	7	7	6	6

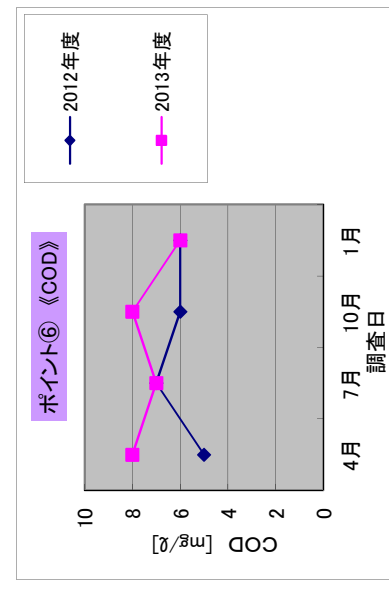
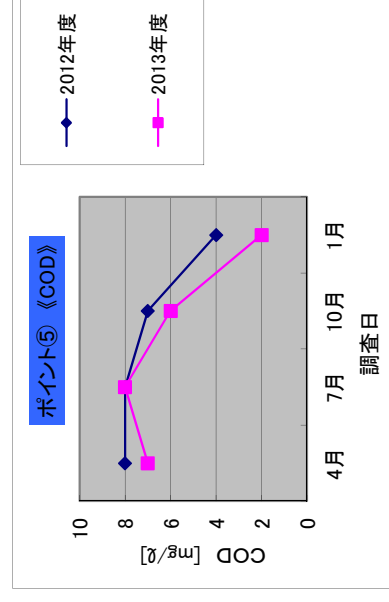
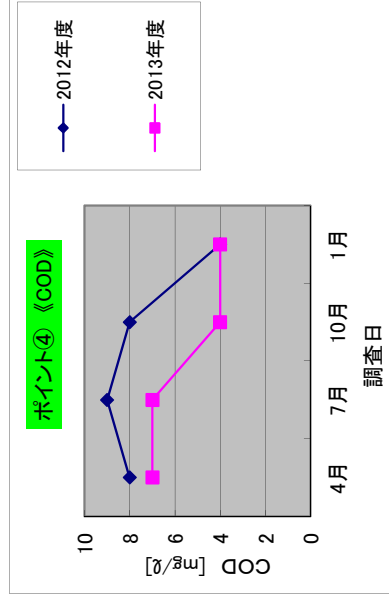
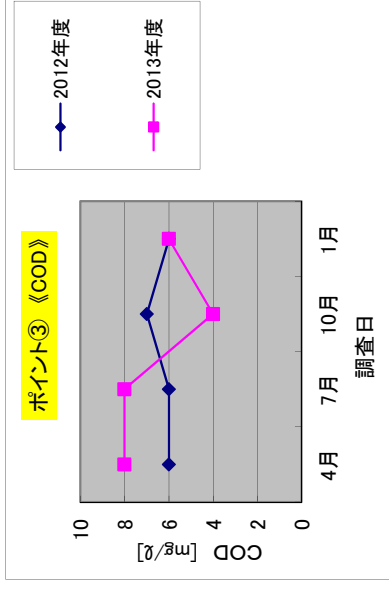
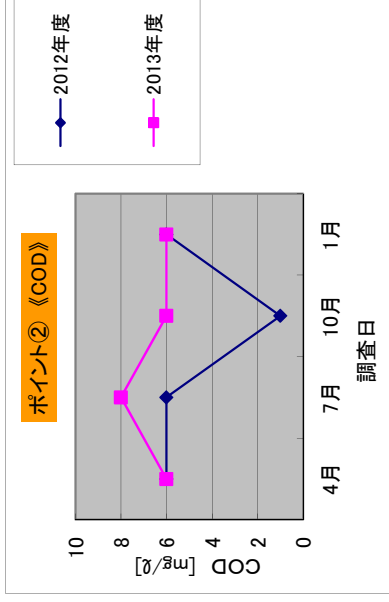
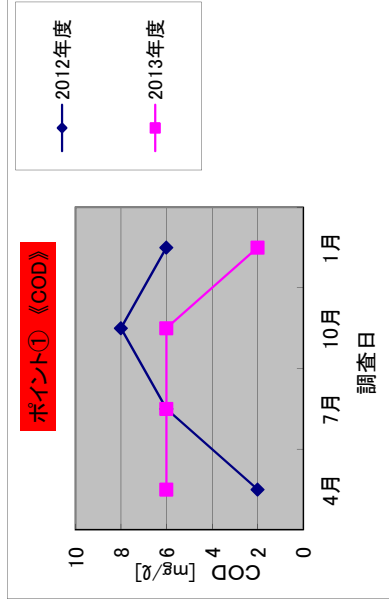
■測定方法  
3ハントpH試験紙



# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【COD】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度	2	6	6	8	8	5
7月	6	6	6	9	8	7
10月	8	1	7	8	7	6
1月	6	6	6	4	4	6
2013年度	6	6	8	7	7	8
4月	6	6	8	7	7	8
7月	6	8	8	7	8	7
10月	6	6	4	4	6	8
1月	2	6	6	4	2	6

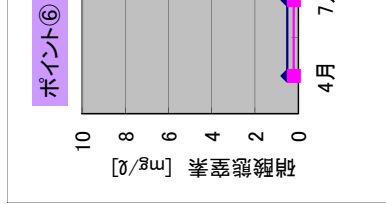
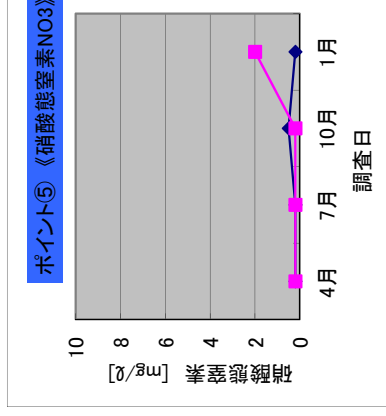
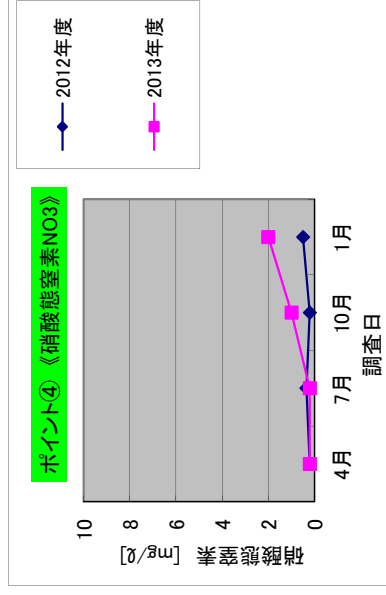
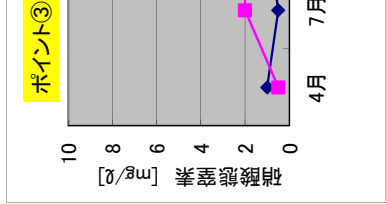
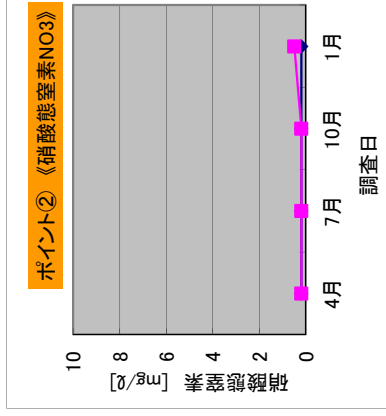
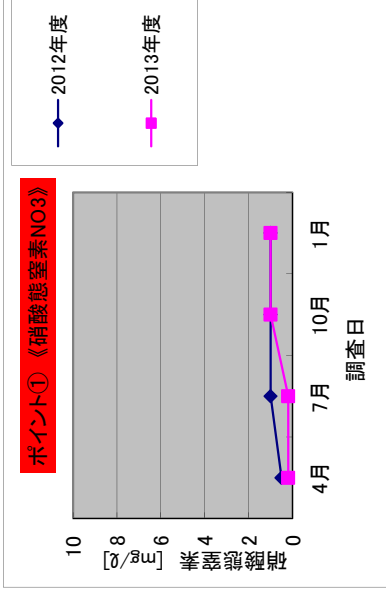
■測定方法  
バックテスト



# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【硝酸態窒素 NO<sub>3</sub>】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度	0.5	0.2	1	0.2	0.2	0.5
7月	1	0.2	0.5	0.35	0.2	0.5
10月	1	0.2	1	0.2	0.5	1
1月	1	0.2	1	0.5	0.2	0.75
2013年度	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.2
4月	0.2	0.2	2	0.2	0.2	0.2
7月	0.2	0.2	2	1	0.2	0.5
10月	1	0.2	5	2	2	1
1月	1	0.5				

■測定方法  
パケットテスト





# 《湖南 企業いきもの応援団》 2012～2013年度 狼川水質調査結果 【りん酸態りんPO<sub>4</sub>】

項目 \ グループ	ポイント1	ポイント2	ポイント3	ポイント4	ポイント5	ポイント6
2012年度 4月	0.02	0.02	0.2	0.1	0.05	0.075
7月	0.1	0.02	0.2	0.2	0.05	0.03
10月	0.05	0.02	0.5	0.1	0.15	0.1
1月	0.02	0.02	0.1	0.05	0.05	0.02
2013年度 4月	0.05	0.02	0.2	0.05	0.1	0.2
7月	0.05	0.1	0.2	0.2	0.5	0.1
10月	0.05	0.2	0.2	0.05	0.05	0.05
1月	0.1	0.05	0.2	0.1	0.02	0.05

■測定方法  
バックテスト

